

事務事業名	車両管理事務（上水・下水）	事務事業No.	681 - 5
-------	---------------	---------	---------

1. 基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
企業局	企業管理課	総務係	係長	藤田 千亜紀	課長	田中 善広
施策体系	総合計画	政策	6	都市基盤・生活基盤		
		施策	8	上下水道の整備		
		基本事業	1	経営基盤の強化		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	道路交通法、道路運転車両法において運転管理が義務付けられている。					
事業開始年度	—	事業終了年度	—	事務事業類型	内部管理事務	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	—	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要	企業局が所管する公用車を一括管理することにより管理事務の効率化と、交通事故防止のための安全運転指導及び啓発等を行う。					
対象	働きかける相手・もの	企業局所管の公用車と公用車を使用する職員				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	公用車の管理及び点検 安全運転に対する啓発及び指導				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	公用車管理事務の効率化と交通事故の防止を図る				

3. 活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
公用車リース契約	台	リース契約した車両台数	16	16	16
公用車点検実施回数	回	車両の点検回数・指導	48	48	48
課内研修	回	安全運転に関する職員研修	1	1	1

4. 成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	事故発生件数	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
		回	0	0	0	0
説明	公用車使用時の事故発生件数	方向性	達成目標年度	実績	0	1
		維持	毎年度	達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標		単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明		方向性	達成目標年度	実績		
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!
指標		単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明		方向性	達成目標年度	実績		
				達成率	#DIV/0!	#DIV/0!

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	—	特別会計	—	
予算科目・事業	会計	—	水道事業会計	—	
	大	—	中	—	
		—	他	—	
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.06 人 492	0.07 人 547		0.07 人 547
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級フル	0.15 人 437	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.00 人 0	0.25 人 496		0.25 人 496
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)	929	1,043		1,043	
事業費	直接事業費(B)	5,375	5,761		5,773
	総事業費(A+B)	6,304	6,804		6,816
直接事業費のうち の主な歳出内訳	需用費	1,616	1,746		1,771
	賃借料	3,624	3,623		3,623
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0		0
	国・県支出金	0	0		0
	市債	0	0		0
	一般財源	6,304	6,804		6,816
	その他()				

6. 事務事業の事後評価★

評価視点	評価項目	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価 (上位施策/成果)	市の関与の妥当性	妥当	給水車などの特殊車両は、直営で購入・管理を行っているが、その他の車両についてはリース車両を導入している。
	目的の妥当性	妥当	事業実施において公用車は必要不可欠である。また、安全運転のため、車両の維持管理及び職員への指導を行う必要がある。
	対象(受益者)の妥当性	妥当	リース車以外の車両については、車検等において、1台毎に適正な発注を行い公平性を保っている。
効率性評価 (活動量/コスト)	コスト削減・コスト効率化	余地なし	管理台数も少なく、リース車両の導入や会計年度職員による対応で、経費節減は行っている。
	負担割合の適正化	適正	全額市負担で他に負担を求める性質のものではない。
	手段の最適性	最適	効率化を図るため、令和2年度よりリース車両を導入し、事務の改善を行った。
有効性評価 (成果/活動量)	目標達成度	達成	車両については、必要な点検を適切に行い、職員に対しても安全運転に努めるよう指導し、車両事故等を防止した。
	上位施策への貢献度	貢献できた	事務の効率化を図り、上下水道事業の経営に貢献した。
	事業継続の有効性	ある	リース車両による管理体制を継続し、業務の効率化を図る。併せて引き続き、職員への指導を行う。

7. 前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算(コスト)を必要とせず、直ちに実施できる改善策	交通事故防止に向けた職員研修の実施、公用車への啓発標語の掲示などを行い、職員の意識を向上させる。
一次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	次年度以降に予算(コスト)増を必要とし、中長期的に実施する改善策	メンテナンス付きリース車両の導入成果を検証、改善を図る。

前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度実施できたこと、などを記入

交通事故防止の職員研修の実施、公用車への啓発標語の掲示を行い、職員の意識向上を図ることができた。また、一部の車両を局共有車両として管理することで、効率的な運用ができた。

8. 今年度評価における成果と課題(決算成果説明書と連動)★

成果 各車両のメンテナンス業者及びリース請負業者双方と確認・整理を行いながら、定期点検を実施した。職員に対しては、安全運転に努めるよう研修及び指導を行った。また、公用車の管理簿を電子管理するシステムの導入により、事務の効率化を図ることができた。

課題 原因不明の車両の傷が発見され、職員の聞き取り、車体カメラ確認を行ったが原因を特定できなかった。原因不明の事故等が発生しないように、乗降時の車両確認を徹底等、公用車管理についての指導を行っていく必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性	拡充				評価区分	事務事業の方向性
	現状維持	④	②	①		
縮小	③	⑤		二次評価	②コストは現状維持し、成果を拡充	
休・廃止	⑦	⑥				
	休・廃止	縮小	現状維持	拡充		
	コスト投入の方向性					

次年度以降の改善策(課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策)★

コスト(人・予算等)を必要とせず、ただちに実施できる改善策
交通事故防止に向けた職員研修の実施、公用車管理について指導し、職員意識の向上を図る。

コスト(人・予算等)を必要とし、中長期的に実施する改善策
メンテナンス付きリース車両の導入成果を検証、改善を図る。

評価変更理由 一次評価のとおりとする。ただし、拡充が判別できるようにするため成果指標の見える化を行うこと。